

# 施策評価管理シート

2021(令和3)年6月作成

施策体系	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの推進		
	施策	2	生涯スポーツ	教育委員会事務局	手島 左千夫

## 1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 市民の誰もが、生涯を通して自主的にライフスタイルに応じたスポーツ・レクリエーション活動に親しみ、健康で、はつらつとした暮らしを営むことができる環境をつくるため、スポーツ関係団体や地域との連携を密にし、生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組みます。
- 市民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動に取り組むことができるよう、ニュースポーツの普及やイベントの開催、スポーツ・レクリエーション施設の整備について計画的に取り組めます。

## 2. 令和2年度の実行内容及びその成果



- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、各指定管理者と連携し、管理している体育施設の安心安全な管理が可能となるよう、国の財源を活用し、検温器・サーキュレーターの設置等、整備を行いました。
- ・令和3年度開催予定の三重とこわか国体の軟式野球会場整備として、利用者が安心安全に利用できるようメイハンスタジアム(名張市民野球場)の改修(グラウンド施設整備・本部席改修工事)を実施しました。
- ・名張中央公園に点在するトイレについて、新型コロナウイルス感染症対策として、国の財源を活用し、靴を介してウイルスが拡散されるリスクが高い和式便器の洋式化等整備改修に着手しました(令和2年度より繰越実施)。
- ・マツヤマSSKアリーナ(名張市総合体育館)について、避難所として感染症の疑いがある避難者の受入にも対応できるよう、マツヤマSSKアリーナ(名張市総合体育館)及び名張市勤労者福祉会館の一体的な活用を可能とするよう館内屋上部分の防水改修等の整備改修を始めました(令和2年度より繰越実施)。
- ・新たな総合型地域スポーツクラブの創設に繋げていくため、名張市地域づくり代表者会議において、同クラブ創設の機運向上を図るための啓発を行いました。
- ・一部利用休止をしている市民テニスコートに対する利用ニーズは極めて高いことから、財源確保のため市内金融機関から情報収集を行うなど、クラウドファンディング方式の活用に向けた調査研究を行いました。

## 3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
週に1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	46.0	0.0%
	成果	43.8	39.1	37.8	40.7			
市民1人あたりの年間体育施設利用回数(回)	目標	-	-	-	-	-	6.0	0.0%
	成果	4.8	4.6	4.6	3.6			
総合型地域スポーツクラブの認定団体数(団体)	目標	-	-	-	-	-	7	33.3%
	成果	4	4	5	5			

## 4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・コロナ禍のなか、市民1人あたりの年間体育施設利用回数は減少したものの、週に1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合は増加しています。新しい生活様式の中で、利用者等全ての関係者が、安全安心にスポーツ活動及びスポーツイベントを開催できるよう、取り組む必要があります。
- ・9面ある市民テニスコートのうち、令和2年2月から3面の砂入り人口芝のテニスコートを、令和2年12月より2面の砂入り人口芝のテニスコートを利用中止としています。利用が可能な4面のハードコートも亀裂等が多い状態であるため、テニスコート全面の改修に向けた検討が必要です。ついでに、財源確保のため、スポーツ振興くじ助成等や市債などの従来の方式に加えて、クラウドファンディング方式を活用するなど新たな方式を検討する必要があります。
- ・はなの里スタジアム(名張市民ホッケー場)を有効に活用し、「ホッケーのまち なばり」の推進を図るための取組が必要です。

## 5. 分析結果を踏まえた施策の実行内容(令和3年度以降)



- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら、新しい生活様式の中で、利用者等全ての関係者が、安心安全かつ継続してスポーツ活動が可能となるよう、またスポーツイベントが開催できるよう、体育施設の維持管理に取り組みます。
- ・名張市体育施設において、国等の財源確保した中での整備(市民テニスコート等)に取り組みます。
- ・新たな総合型地域スポーツクラブの創設に繋げていくため、市内の15の地域の実情に応じたクラブ創設の機運向上を図ります。
- ・「ホッケーのまち なばり」の推進を図るため、本年度に開催を予定している三重とこわか国体開催後においても、関係機関と連携し、市民の機運向上に取り組めます。

施策を構成する主な事務事業

\*事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています(施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます)。

\*R2決算見込は、R1からの繰越額も含みます。

\*R3予算は、R3.4.1時点での金額を記載しています。(R2からの繰越額含む。)

\*R3予算のみ金額が記載されている事務事業は、R3の事業内容を記載しています。

(単位：千円)

会計	事務事業名	担当部局名	担当室名	令和2年度内容	R2決算見込		R3予算	
					決算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源
一般	スポーツ活動振興費	教育委員会事務局	市民スポーツ室	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、体育健康フェスタ、ひなち湖紅葉マラソン大会、青蓮寺湖駅伝競走大会のイベント等を中止せざるを得なくなりました。そういった中で、名張市スポーツ大賞等の顕彰行事を名張市スポーツ指導者研修会とともに開催しました。開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限留意するため、入場者数の制限を図るための事前申込制、施設内の動線の管理などの取り組みを行いました。	4,066	4,066	7,116	5,516
一般	三重国体準備事業	教育委員会事務局	国体推進室	令和3年に開催する三重とこわか国体・三重とこわか大会に向け、弓道及びホッケーの競技別リハーサル大会を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。 コロナ禍での大会実施に向け競技会場設営の見直しや子供たちによる啓発物品の作製を行いました。 (令和2年度実績) ・三重国体に関する準備事業	4,244	4,026	0	0
一般	三重国体運営実施事業	教育委員会事務局	国体推進室	三重とこわか国体・三重とこわか大会で正式競技としてホッケー、軟式野球、弓道、公開競技としては綱引、デモンストレーションスポーツとしてのターゲット・バードゴルフの5種目を実施します。	0	0	400,269	169,577
一般	市民野球場改修事業	教育委員会事務局	市民スポーツ室	市民野球場のグラウンドやフェンス等の改修により、野球場利用者及び周辺施設利用者の安全を確保するとともに、競技環境の向上を図りました。 (令和2年度実績) ・市民野球場改修工事	54,261	76	0	0
一般	名張中央公園トイレ改修事業	教育委員会事務局	市民スポーツ室	名張中央公園に点在するトイレについて、新型コロナウイルス感染症対策として、靴を介してウイルスが拡散されるリスクが高い和式便器の洋式化等整備改修を行います(令和3年度繰越事業) (令和2年度実績) ・名張中央公園トイレ改修工事設計	20,028	0	33,945	0
一般	総合体育館改修事業	教育委員会事務局	市民スポーツ室	施設利用者の安全で快適な利用とサービスの向上を図ると共に、災害時の避難所としての安全・安心を確保するため、改修工事を実施しています(令和3年度繰越事業) (令和2年度実績) ・市民野球場改修工事設計	39,245	0	117,836	0
一般	ホッケー場整備事業	教育委員会事務局	市民スポーツ室	名張市民ホッケー場内に倉庫新築及び屋外電気設備工事を行い、使用備品(夜間照明設備等)の格納、夜間照明設備の活用及びホッケー等各種大会の円滑な運営を行うことに寄与することが出来ました。	4,307	7	0	0